



各地で地震や大雨、ゲリラ豪雨など大きな災害が起きています。

もし、自分たちが災害にあってしまったら、どうしたらよいのか困ってしまいますよね。

このコーナーでは、自分や家族などを守るために災害が起きてしまったときに役立つ情報を紹介します。

警戒レベルが発令されたら適切な避難行動を

住民の皆さんが災害発生の危険度を直感的に理解し、的確に避難行動ができるようにするため、避難に関する情報や防災気象情報などの防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いて伝えています。

●警戒レベルについて

警戒レベルは、災害発生の危険度が高くなるほど数字が大きくなります。

最大のポイントは、「警戒レベル3」が発令されたら、高齢者や障がいのある人など避難に時間のかかる人やその支援者は危険な場所から避難し、それ以外の人は避難の準備をすること。そして、「警戒レベル4」が発令されたら、対象となる地域住民の人々は危険な場所から全員避難することです。

「警戒レベル5」は、すでに災害が発生している状況ですので、命を守る最善の行動をとってください。

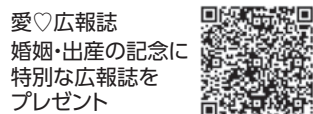
警戒レベル5になってからでは、安全な避難が難しい場合があります。地域の皆さんで声を掛け合って、また、空振りをおそれずに、レベル3、レベル4の段階で安全・確実に危険な場所から避難を終えましょう。

<p>警戒レベル 1</p> <p>災害への心構えを高める</p> <p>早期注意情報 (気象庁が発表)</p>	<p>警戒レベル 2</p> <p>ハザードマップ等で避難行動の確認</p> <p>洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)</p>	<p>警戒レベル 3</p> <p>危険な場所から 高齢者等は避難!</p> <p>避難準備・ 高齢者等避難開始 (市町村が発令)</p>	<p>警戒レベル 4</p> <p>危険な場所から 全員避難!</p> <p>避難勧告 避難指示(緊急) (市町村が発令)</p>	<p>警戒レベル 5</p> <p>災害発生! 命を守る最善の行動を!</p> <p>災害発生情報 (市町村が発令)</p>
---	--	---	---	--

! 避難指示(緊急)は必ず発令されるものではありません。危険な場所にいる場合は、避難勧告が発令され次第、避難指示(緊急)を待たずに速やかに避難してください。

●避難に関するポイント

- 事前にハザードマップなどで確認を。
安全な場所にいる人は避難所に行く必要はありません。ハザードマップなどで自宅の災害リスクを確認し、事前に家族で避難場所などについて話し合っておきましょう。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。
安全な自宅に留まることや親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 豪雨時の移動は車も含め危険!
やむを得ず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分に確認してください。
- 避難する際はマスク・消毒液・体温計をできるだけ持参!



シティプロモーション動画
「ちょうど級タウン東郷町」

▲ QRコードを読み取ることで視聴できます。